


# 歯★ピカクラブ 8月号

「ダッパ!」、「きちゅねサン」。。。ふと、生活の中で  
 お子さんの「発音」に「あれ?なんかへん??」と思ったこと  
 はありませんか?今回は、「サ行・ラ行の発音がはまり  
 しない」という、「発音」の悩みをテーマにしました。  
 「うちの子、大丈夫。。。??」一度、よ〜く、発音状態を  
 確認してみましょう!

「まずは、発音状態をチェック  
 してみましょう!」

- ① いつも同じ発音を間違える。
- ② 正しい発音と間違った発音を区別  
 することができない。  
 <Yes or NO>
- ③ 書字と混同があり、発音したとおりに  
 字を書く。  
 <Yes or NO>

このような場合は、自分の発音の間違い  
 に気付かない、あるいは気付いても  
 発音の方法がわからない状態と  
 いえます。  
 発音指導などが必要かもしれません。

## 原因の一つ『舌小帯異常』について の説明

**舌小帯**とは、舌を持ち上げると舌の裏側に  
 糸いひのようなものがあります。  
 これを「舌小帯」といいます。  
 これは、舌の動きを調整する働きが  
 あり、付着の位置が異常な場合、舌の  
 動きが制限され、発音や飲み込み  
 に問題を持つことがあります。  
 牛乳に「発音」で一番影響を受けやすい  
 のは、舌を弾く音「ラ」行音です。  
 (例: ㊶んご→㊷んご、㊸ッ10→㊹ッ10、など)  
 しかし、「ラ」行音の習得は通常5~7歳  
 なので、その時期になっても発音しにくい  
 様な場合は、医師と相談の上、  
 舌小帯を切除する場合があります。

## 原因は。。。?!

- ★舌小帯異常
- ★くちびるの力がよわい
- ★いつも口が開いている(開咬障害)
- ★おしゃぶり ... など"など"



※2歳半くらいまでは、まだしっかりとした  
 発音は必ずかしいのですが...  
 5~7歳になっても同様なら要注意!!

## 簡単チェック!!

- あかんべーを、してみよう!
- 舌を前方に出させた時、舌の先が  
 くぼんで「ハート型」になったら  
 要注意!!

これが『舌小帯』です!!

